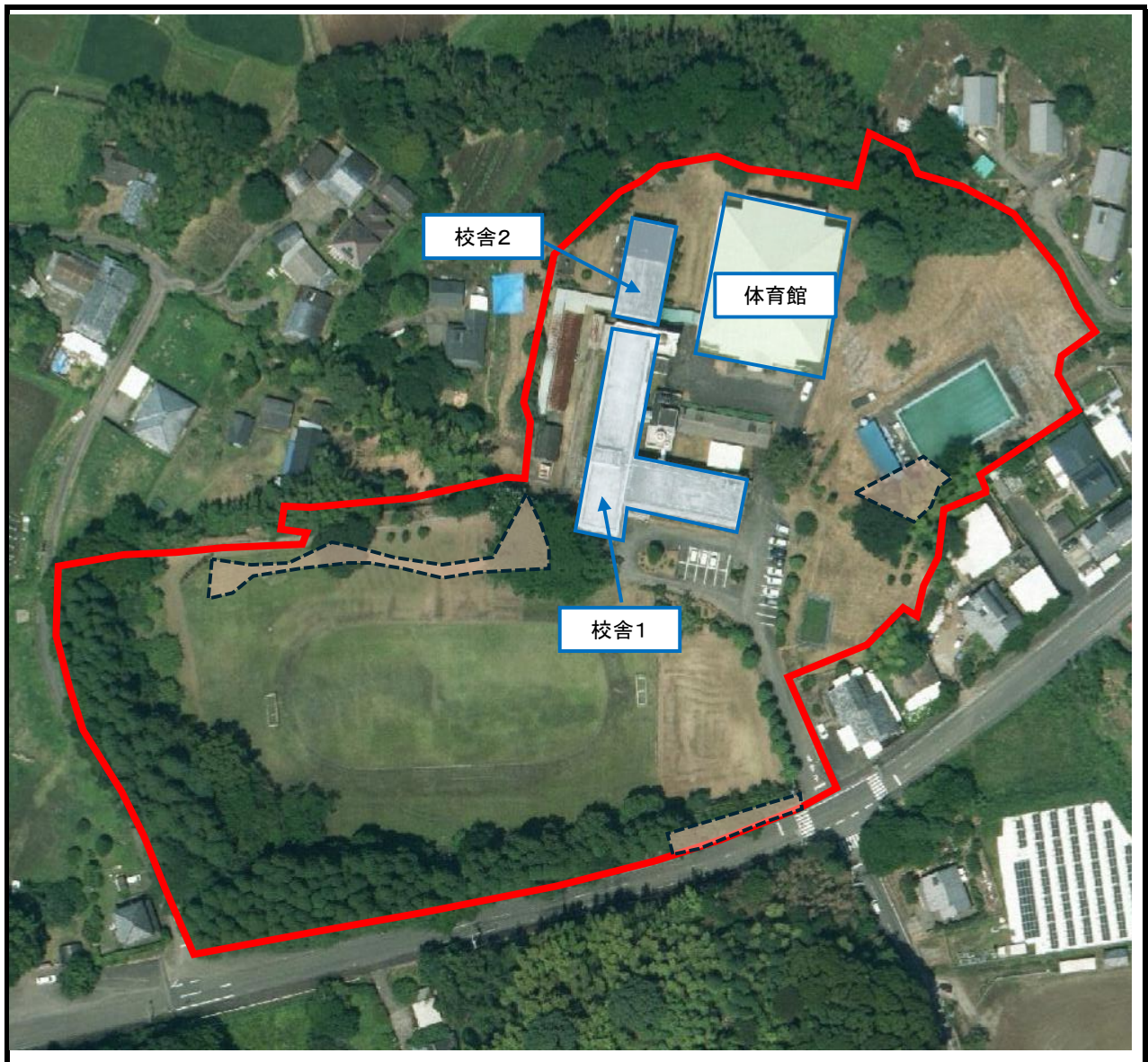


建物基本情報						躯体の健全性			劣化状況評価					
建物名	構造	階数	延床面積 (m ²)	建築年度	築年数	耐震安全性			屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度 (100点満点)
						基準	診断	補強						
校舎1	RC	3	2,117	S47	53	旧	済	済	D	C	C	C	C	37
校舎2	RC	2	440	S35	65	旧	済	不要	C	B	C	C	C	50
体育館	S	1	830	S61	39	新	-	-	A	A	B	B	B	84

※令和2年3月策定「西都市学校施設等長寿命化計画」より

(備考)

- ・校舎の痛みが激しく、空調は故障気味
- ・校舎、体育館ともに雨漏り箇所あり
- ・敷地内に民地あり (3筆)
- ・地元より周辺立木の伐採について要望を受けている
- ・避難所 (地震・洪水・土砂災害)
- ・体育館は夜間等に地域住民が定期的に使用



●都於郡中学校に係る修繕・工事費用（令和元年～）

R6	都於郡中学校	空調機器修繕	1,485,000
R2	都於郡中学校	1階廊下床ほか修繕	917,290
R2	都於郡中学校	冷却塔改修工事	5,390,000
		ほか33件	
		合計	13,764,401

●解体費試算（令和7年3月作成「都市再生整備計画」より）

【都於郡中】

		面積	単価	解体費	建築年度
校舎1	教室棟	1,488	30,000	44,640,000	S46,S47
	特別教室・管理棟	612	30,000	18,360,000	S47,S59
校舎2	教室棟	440	30,000	13,200,000	S34
体育館		830	50,000	41,500,000	S61
部室		110	30,000	3,300,000	S51
プール				10,000,000	
合計				131,000,000	

●施設の解体に係る補助等

・都市構造再編集中支援事業

国費率 50%（ただし、自治体での限度額あり）

※令和11年度までに完了する除却費用が対象

・公共施設等適正管理推進事業債

充当率 90%

元利償還金に対する交付税措置率 30～50%

※市としての負担は、全体の30%程度になる見込み

●市としての活用の可能性

災害に対する備蓄倉庫

埋蔵文化財の保管施設

企業等への売却

※現時点での具体的な活用方法は決まっていない。